

今期の所蔵作品展「MOMATコレクション」の中から、ふたつの見どころを紹介します。

コレクションによる小企画

新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》

会期：2022年3月18日（金）－5月8日（日）東京国立近代美術館 2階ギャラリー4

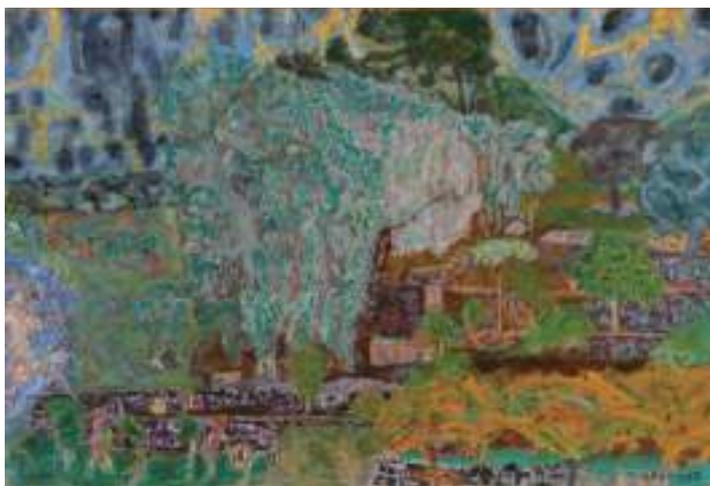
新たな名品をお披露目！

2020年度収蔵されたピエール・ボナールの絵画作品《プロヴァンス風景》（1932年）の初披露です。

ボナール（1867-1947）は、19世紀末から20世紀半ばにかけて活躍したフランスの画家。60年近くに及ぶ長いキャリアの中でボナールは何度か作風を変化させますが、とりわけ1920年代以降の豊かな色彩や抽象度の高い表現を特徴とする作品は、「視神経の冒険」（ボナール本人の言葉）、「絵画の中の絵画」といった形容で語られてきました。20世紀を代表する画家の一人アンリ・マティスは、「ボナールが今日でも、そして確実に未来まで偉大な画家であることを証明する」と、ボナールの作品の革新性について予言的な言葉を残しています。

なによりまず、《プロヴァンス風景》の魅力をじっくりと心ゆくまでご堪能ください。展示室では、日本画、洋画、現代の絵画にいたるまでの計22点が《プロヴァンス風景》と共演します。当館のコレクション、そして日本の近現代美術を新しい視点から鑑賞いただくきっかけとなれば幸いです。

広報用画像



描かれているのは南仏プロヴァンスの風景。ボナールが好んで用いた紫、黄色に加え、震えるようにきらめくさまざまな階調の色彩が散りばめられ、まるで宝石箱の中のようなです。これだけの色数（実に多様な筆触にも注目）をひとつの画面に取り込み、なおかつ絵画が破綻せずに緊張感をもって成立しているのは驚嘆すべきことでしょう。ボナールが、20世紀絵画史において圧倒的な色彩の使い手であることを体現するような作品です。

1. ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》1932年



「MOMATコレクション」では、13,000点を超える所蔵作品から選りすぐりの約200点を、会期ごとに3フロア、12の部屋に分けて展示します。明治から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 (直通) FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp

小特集 白い漫画、黒い漫画

会期：2022年3月18日（金）－5月8日（日）

東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 3階7室・8室

漫画か絵画か？

戦後の日本で、漫画という表現がにわかに美術業界から注目を受けたことがありました。復興に向かい始めたばかりの、1950年代のことです。

この時代に、社会や人間という主題を、ダークで戯画的に表す美術作品が続々と現れました。版画やペン画でモノクロームの表現を行った作家が多かったこともあり、いつか、絵画と漫画は分類する意味がないほど接近します。画家が雑誌に風刺漫画を発表することも少なくなく、双方は密に交流しました。

これぞ芸術本来の社会批評の力であるとして、評論家の瀧口修造はこの美術動向を「**黒い漫画**」と命名。しかし60年代に入って子供向け週刊漫画誌が大流行すると、様子が変わってきます。漫画はより明るく、より動きのあるコマ表現を発達させ、一方で絵画は、そのような漫画から一步引いて、漫画的な表現を作中に取り込んだり応用したりするようになります。

この小特集は、2部屋を使って、岡本太郎や間所紗織などの50年代から70年代までの戯画的な美術作品と、久里洋二、真鍋博らの同時代の漫画冊子を合わせて、計50点以上の作品・資料で構成します。当時の漫画と絵画の距離感を体感していただければ幸いです。

広報用画像



2. 池田龍雄《怒りの海》1953年



3. 間所紗織《女(B)》1955年



4. 『真鍋博漫画集 食民地ニッポン』
1957年

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565 (直通) FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp

開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」（しょぞうさくひんでん もまっとこれくしょん）
（英）Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4階から2階

会期：2022年3月18日（金）－5月8日（日）

休館日：月曜日 [3月21日、28日、5月2日は開館]、3月22日（火）

開館時間：10:00-17:00（金・土曜は10:00-20:00）※入館は閉館30分前まで

観覧料：一般 500（400）円／大学生 250（200）円

※()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金・土曜の17時以降は、割引料金。一般300円、大学生150円。
※高校生以下および18歳未満、65歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者（1名）は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」（1b出口）徒歩3分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時開催：企画展 | 「没後50年 鎚木清方展」2022年3月18日（金）－5月8日（日）[9:30開場]
公式サイト <https://kiyokata2022.jp/>

「没後50年 鎚木清方展」のチケットで、入館当日に限り所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションによる小企画「新収蔵&特別公開 | ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」もご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、開催内容、開館時間等が変更になる可能性があります。
最新情報はウェブサイトにてご確認ください。

【プレスリリース お問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 小川・堀田

TEL: 03-3214-2565（直通） FAX: 03-3214-2576 Email: pr-f@momat.go.jp